



建築物総合環境計画概要書 新築

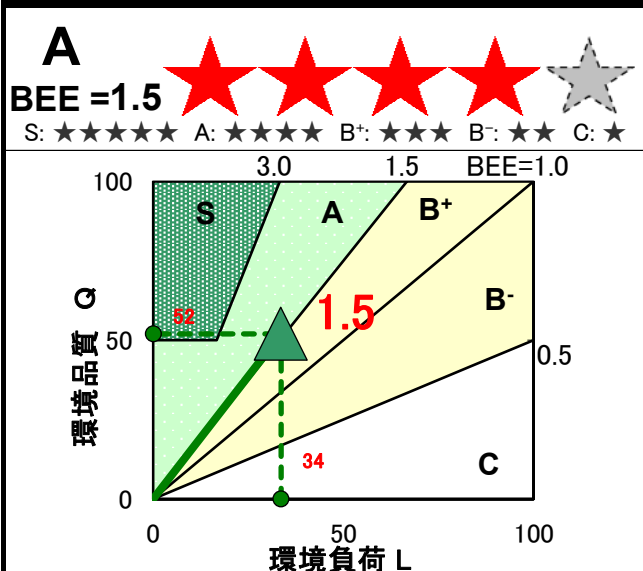
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要

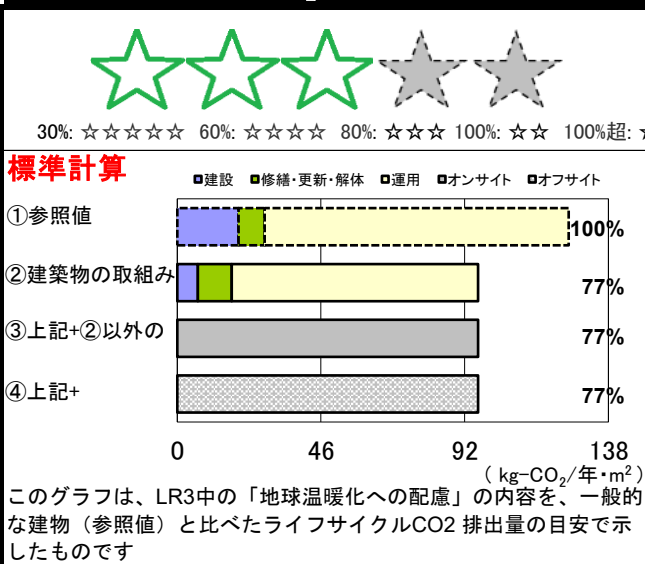
建物名称	(仮称)福島3丁目PJ 新築工事		
建設地	福島区福島3丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主	都市環境開発(株)		
設計者			
敷地面積	3,773.66	m ²	
建築面積	1,516.07	m ²	
延床面積	52,272.16	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上45F
完了年(予定)	2030年5月		

1-2 外観

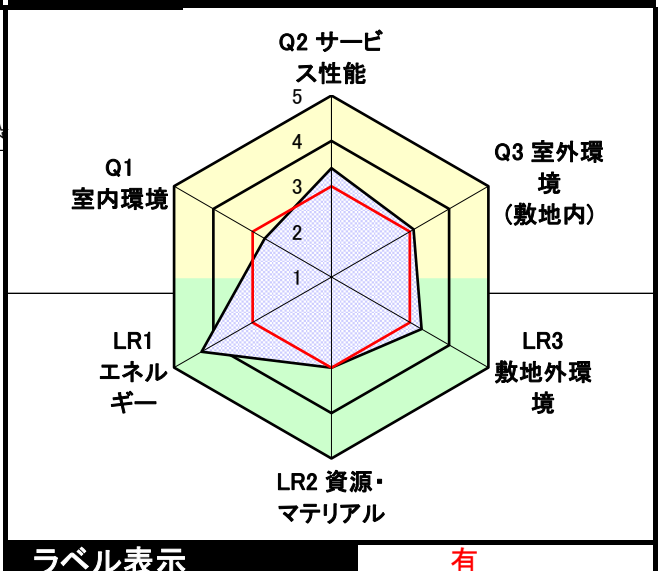
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



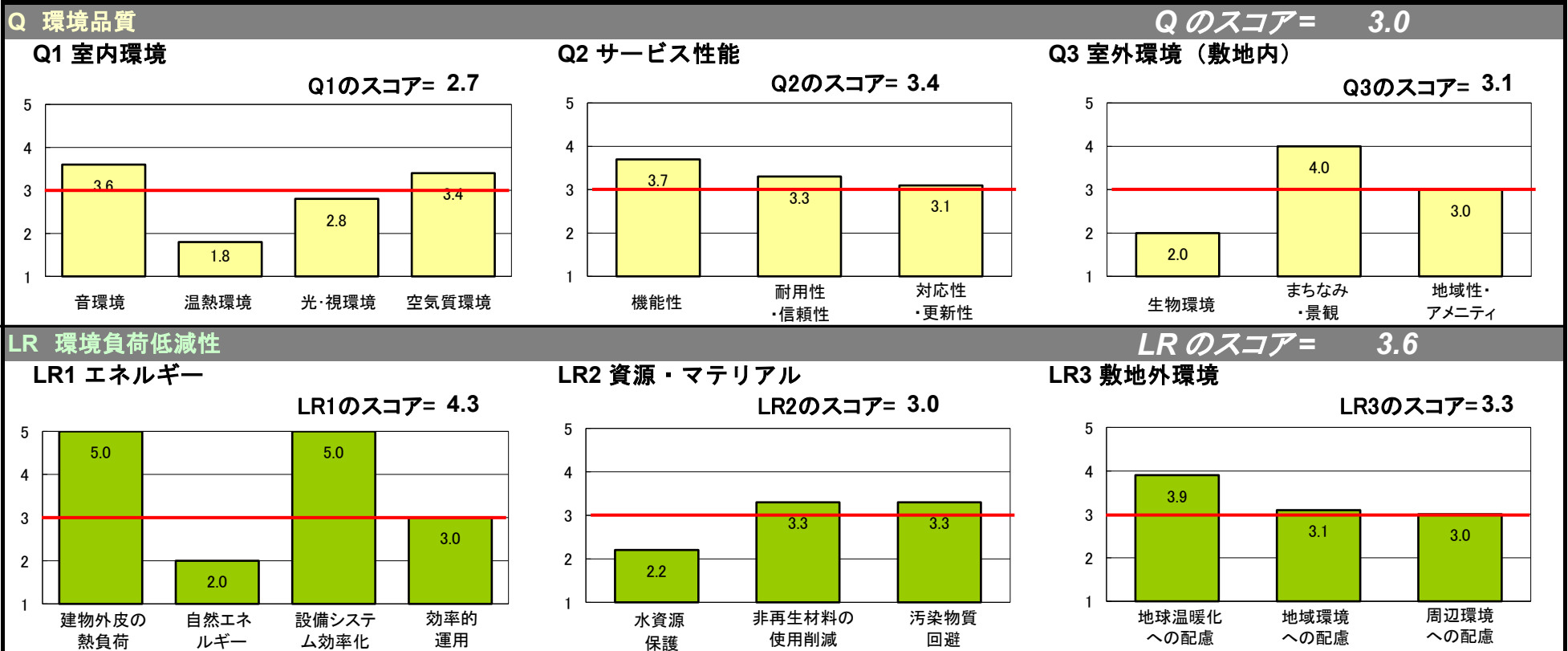
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
高い外皮性能をもたせることで省エネルギー性の高い快適な室内環境を整えられるよう努めた。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
遮音性能T-2の建具の採用や、直貼りフローリング・2重床システム共に遮音性能の高い床材の採用により、音環境の性能向上に努めた。また、シックハウス対策としてF☆☆☆☆の建材を採用し、室内の空気質環境の向上に努めた。	10Gbpsクラスのブロードバンドを利用可能とし機能性を高めるとともに、免震構造や劣化対策等級3となる躯体とすることで耐用性・信頼性向上に努めた。	歩道上空地に街路樹を配置すると共に、一般公開空地には季節の彩りが楽しめる植栽により周辺からの良好な景観となるように努めた。また、中高木の植栽により地表面温度上昇を極力抑え、地域性・アメニティの向上に努めた。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努め、またLED照明や節湯型水栓（台所・洗面台・浴室）、高断熱浴槽など設備システムの効率化にも努め、省エネルギーに配慮した建物としている。	オゾン破壊係数や地球温暖化係数の小さい発泡剤を使用する断熱材を採用し、汚染物質の使用回避に努めた。また、躯体と仕上げが容易に分別可能なことから部材再利用の可能性向上に配慮している。	住戸断熱材の強化や高効率設備の導入によりライフサイクルCO2排出率を抑制し、地球温暖化に配慮した。また、緑化により敷地外の温熱環境悪化の改善に努めた。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.9
配慮事項	ライフサイクルCO2排出率低減に努めた。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	緑地を確保することにより、地表面温度や地表面近傍の気温等の上昇を抑制することに配慮した。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級5相当とし、建物の温度差による熱損失・熱取得の低減に努めた。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	LED照明など高効率な設備を採用し省エネルギーに配慮している。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]	
	等級4を超える（相当）	-	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	0.79	0.79	-